

すぐわかる!

# 撮った写真で遊ぼう!

今回のテーマ⇒トーンカーブを使う

文●土屋徳子

## 「トーンカーブ」で 暗い写真を明るく鮮やかに!

室内や逆光で暗く写ってしまった写真の、本来の明るさや色を取り戻しましょう。今回は「トーンカーブ」機能を使った、明るさの加減や色味の調整方法を紹介します。なお、解像度の大きな写真ほど、色や明るさの情報が多く含まれているため、よりきれいに仕上げられます。

元写真

DL  
ダウンロードファイル  
P137 トーンカーブ.jpg



全体に暗くて何が写っているのかわからない写真も、明るさと色の補正で、実際に目で見たときのように復元された!



DL  
ダウンロードファイル  
P137 トーンカーブ完成.jpg



今回使用したソフト



無料ソフト

GIMP (ギンプ)

作者 The GIMP Team

OS 7/ビスタ/XP

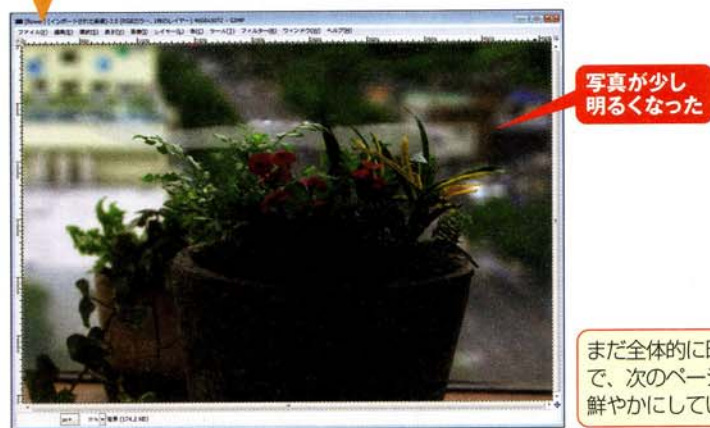
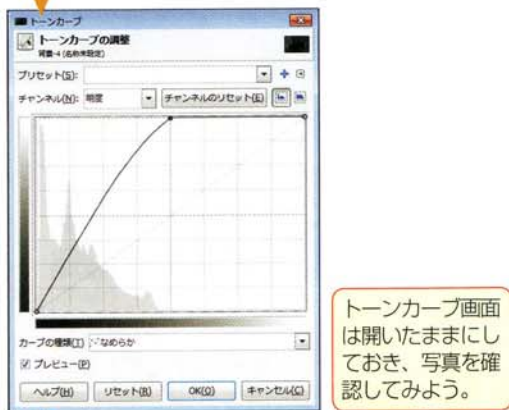
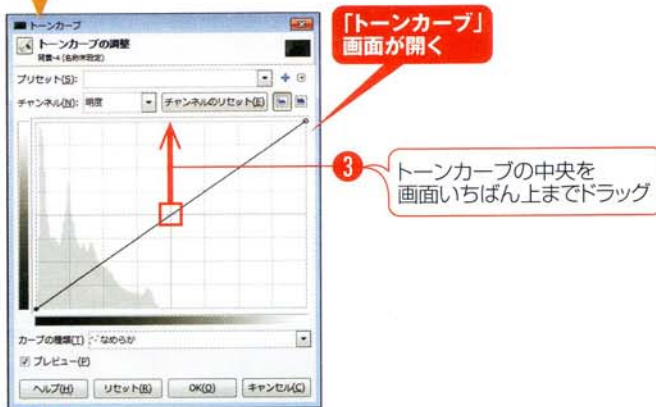
URL [www.gimp.org/downloads/](http://www.gimp.org/downloads/)

この連載の操作は無料ソフトの「GIMP」(最新バージョン2.8)を使っています。GIMPは上記のURLからダウンロードできます。インストール画面は英語ですが、インストールが完了すると、ソフトは日本語で使えます。

# 1 | トーンカーブで全体的に明るくする

写真の明るさを調整する機能「トーンカーブ」で、暗い写真を全体的に明るくします。

メニューバーから【ファイル】→【開く】をクリックし、ダウンロードファイルの「P137\_トーンカーブ.jpg」を開く



## 解説 トーンカーブ

写真は明るさと色のピクセル（小さい点）で構成されています。画面の左下から右上に伸びる線「トーンカーブ」の形を変えると、ピクセルの分布が変わり写真の明るさや色味が変わります。横軸が元画像の、縦軸が補正後の明るさを表しています。横軸は左から右に向かって、縦軸は下から上に向かって明るくなります。



## 解説 写真全体を明るくする

トーンカーブの中央は、写真の中間調（中間の明るさ）の部分に当たります。この部分をドラッグで上に上げると、中間調の部分明るくなるため、写真全体が明るくなります。

## 2 | 写真をさらに明るくする

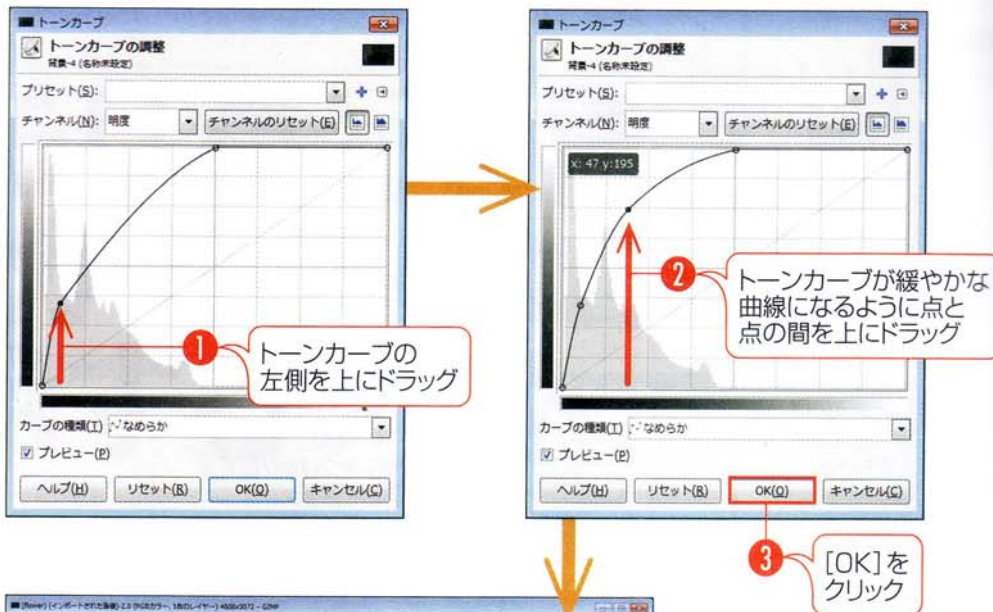
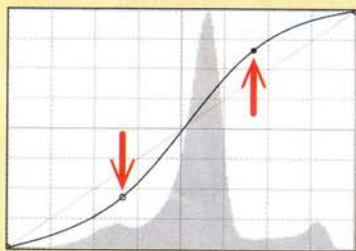
トーンカーブで写真の暗い部分に当たる部分を明るく調整することで、写真がさらに明るくなります。

### 解説 暗い部分を自然に明るくする

写真の「暗い」部分に当たるトーンカーブの左側を上ドラッグすることで、写真の暗い部分が明るくなります。ただし、カーブの角度が大きくなると、写真の明るさや色味が極端に変わってしまいます。カーブの要所をドラッグして緩やかな曲線になるように形を整えることで、自然な明るさに調整できます。

### ひと押し コントラストを強調するには

色が地味な写真は、明るさと暗さのコントラストを強めるとメリハリが出ます。トーンカーブの「明るい」部分を上に、「暗い」部分を下に調整した「S字形」にしましょう。写真の明暗を強調できます。



写真がさらに明るくなった

## 3 | チャンネルで色のくすみを解消する

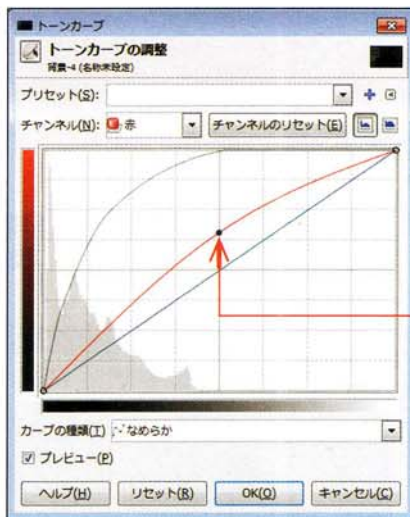
最後に、「チャンネル」を調整することで色のくすみを解消し、鮮やかな写真に仕上げます。

メニューバーから【色】→【トーンカーブ】をクリックし、「トーンカーブ」画面を開く

### 解説 チャンネルとは

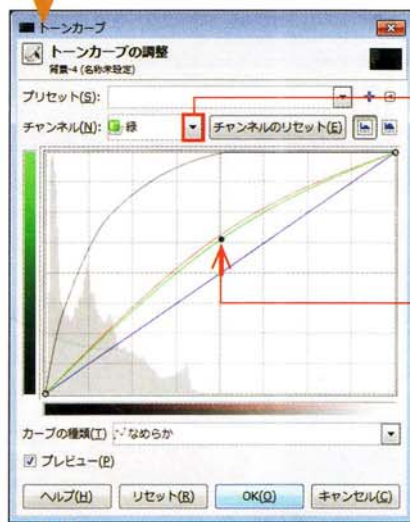
写真が明るくなると、色味の片寄りや色のくすみが気になることがあります。このようなときには「チャンネル」で解消します。写真は「赤」「緑」「青」の光の三原色で構成されていますが、チャンネルではこの3色を個別に調整できます。トーンカーブで各色のカーブを湾曲させ、色の分布を調整することで色味の片寄りやくすんだ色調が解消されます。





3 トーンカーブの中央を上ドラッグ

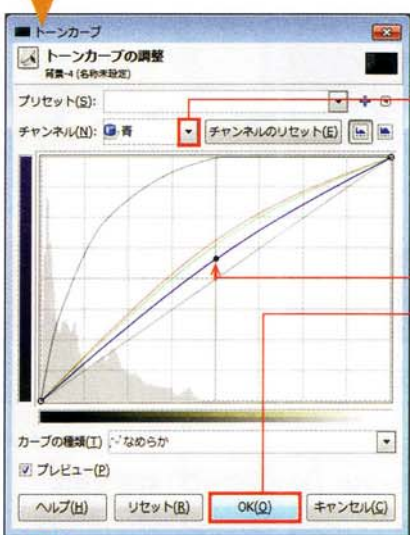
ここでは、表示されている縦のマス目1つ分、カーブを上ドラッグする。



4 [▼]をクリックして[緑]を選択

5 トーンカーブの中央を上ドラッグ

ここでは、表示されている縦のマス目1つ分、カーブを上ドラッグする。



6 [▼]をクリックして[青]に変更

7 トーンカーブの中央を上ドラッグ

8 [OK]をクリック

画面を見ながら上ドラッグしていく。ここでは、背景左側の壁の黄色みがかかった部分が白になるように調整。



## 解説 色のくすみを解消する

チャンネルに切り替えてカーブを調整すると、くすみが解消されます。ここでは、「赤」のカーブを写真の暗い部分が見える程度まで上にドラッグします。次に「緑」に切り替えて「赤」と同じようなカーブを作ります。最後に、写真を確認しながら「青」のカーブも少しずつ上げていき、全体の色味を整えます。ここでは背景左側の壁の黄色みがかかった部分が白になるように調整しています。

## ひと押し 写真の赤みも解消できる!

撮影時の光源の色の影響で、写真が赤みを帯びて写ることがあります。このような色味の片寄りや、チャンネルの3色を個別に調整することで解消されます。赤みを帯びた写真は、チャンネルの「赤」のカーブを下げるか、もしくは「緑」と「青」のカーブを上げるとバランスよく調整されます。

